

1. 2021 年度教学委員

学科における履修関係(講義受講・単位取得・進級等)に関する相談の窓口が教学委員です。

	氏名	居室	E-mail アドレス	電話番号
教学委員(正, 学部)	三宅 洋平	S308	y-miyake@eagle.kobe-u.ac.jp	078-803-6319
教学委員(副, 院)	中本 裕之	自 3-304	nakamoto@panda.kobe-u.ac.jp	078-803-6669
教学委員(数学系)	倉橋 太志	自 3-414	kurahashi@people.kobe-u.ac.jp	078-803-6307

相談・問い合わせについて

- いきなり部屋を訪問しても、不在であったり、多忙であったりして対応できない場合があります。極力メール等でアポイントメントを取ってから訪問するようにして下さい。
- メールを送る場合には宛先、主題を下記のようにすること。

To: csi-kyogaku-local@edu.kobe-u.ac.jp

Subject: [教学:XXXXXXX] (XXXXXXX は自分の学籍番号)

- メールの返事が即座に出せるとは限りません。海外出張等で不在の場合もあるため、返事が出せるまでに3日程度かかることもあります。
- 事務的な内容の問い合わせは教務学生係もしくは学科事務室に行うようにして下さい。
- 相談・問い合わせを行う前に、学生便覧等をよく読み、問題点を明確にしておくようにすること。

2. 2021 年度学生委員

学生生活全般に関する相談の窓口が学生委員です。

氏名	居室	E-mail アドレス	電話番号
藤井 信忠	S 403	nfuji@phoenix.kobe-u.ac.jp	078-803-6133

3. 2021 年度留学生委員

留学生に対する学生生活全般に関する相談の窓口が留学生委員です。

氏名	居室	E-mail アドレス	電話番号
曹 晟	S 405	jasonsosen@gold.kobe-u.ac.jp	078-803-6251

4. 情報の掲示

大学では、種々の情報の伝達は掲示板によってなされます。日常的に掲示物に注意するようにして下さい。掲示を見なかったことが原因で不利益を被った場合、その責任は本人が負うことになります。特に下記の掲示板は頻りにチェックすること。

- ・教学関係ウェブページ

<http://www.csi.kobe-u.ac.jp/cs/site/student/kyougaku.html> にあります。主として学科の教学関係(履修や単位取得・進級等に関する事柄)の情報が掲示されています。ここに全ての情報が網羅されているわけではないので注意してください。例えば、個人情報が含まれる掲示はされません。

- ・2021 年度授業関連情報 Wiki ページ

<http://exp.cs.kobe-u.ac.jp/wiki/corona/> にあります。本年度前期授業実施に関する重要連絡を行います。

5. 履修関係

履修登録期間：4月2日(金)13時～4月23日(金)17時の期間に履修登録を教務情報システムにて行うこと。

再履修

- ・各自の入学年度に対応した科目・コードを選択して履修登録を行うこと。誤った科目名やコードを記載して履修申請を行った場合、当該科目を履修して試験に合格しても単位の取得が認められない場合や、単位を取得しても卒業要件として取り扱われない場合があります。

CAP制

- ・履修科目の上限は年間54単位です。この上限を考慮して、履修計画を立ててください。なお、キャップ制の枠外で履修登録可能な場合もあるので掲示に注意すること。
- ・前年度に必修科目をすべて含み36単位以上取得し、その80%以上が秀または優である学生は、キャップ制の上限を超えて履修することが可能です(学生便覧 p.145を参照)。希望者は教学委員まで連絡してください。

履修取消について

- ・今年度の履修取消期間は第1Q:4月26日～5月6日、第2Q:6月28日～7月4日。ただし集中講義など、履修取消不可科目が存在します。また、履修取消をした科目はその学期(通年科目についてはその年度)再度履修することはできません。なお、履修取消をした科目もCAP制の単位数にカウントされるので、この点については履修登録時にしっかり確認のこと。

不正行為

- ・不正行為に対しては厳正な処置がとられます。試験にける不正行為が発覚した場合、当該期の受講科目が全て無効になります。またレポート課題における他人のレポートの丸写し等に対してもしかるべき処置が行われます。

早期卒業について

- ・次の条件を満足している学生が対象です。卒業研究(8単位分)を除く卒業要件を満たしており、それに加えて選択必修科目を8単位以上取得していること。また、卒業要件科目の90%以上が秀または優であること。
- ・早期卒業を希望する場合、入学後1年後または2年後に、所定の早期卒業申請書を教務学生係まで提出すること。希望者は早急に教学委員まで相談してください。

飛び級について

- ・成績が特に優秀であると認定された場合、飛び級で4年生をとばして大学院へ進学することができます。3年生の6月～7月初め頃に出される博士前期課程の募集要項にしたがって出願資格の事前審査を受け、認定を受けた後に大学院入試を受験することになります。
- ・学部学生としては「退学」の扱いとなり、「学士」の学位は授与されません。したがって、大学の学部卒業が受験の要件となっている国家試験などについてはその受験資格は失われます。

参考情報

- ・工学部ホームページでシラバスを公開しています。授業内容や担当教員の最新情報として参考してください。なお、授業科目区分や進級／卒業要件等は、入学時に配布した学生便覧記載のものが卒業まで適用されます。

最新年度のものは適用されませんから注意してください。

進級に失敗(留年)することが懸念される例

例年、3 年生から 4 年生に進級する際、2 割程度の学生が要件を満足できずに留年している。後もう少しで進級できたのに失敗する例としては下記のものがある。

1. 教養科目（基礎教養科目，総合教養科目，高度教養科目）の単位不足。3 年生になったときこれらの科目の単位が足りていなければ，余裕をもって履修すること。
2. 演習，実験は必修で，一科目でも足りないと留年が決定します。演習，実験は，特段の事情が無い限り必ず出席し，課題を期限内にこなす必要があります。少しでもわからない点がでてきたら，教員に質問するなどして，再履修にならないように心がけてください。

6. 内部推薦制度(博士課程前期課程推薦入試)

本学工学部卒業生ならびに在籍者（4 年次）に対してシステム情報学研究科博士課程前期課程推薦入試の制度があります。推薦者の決定において，学部成績が重要な評価指標になります。

※入試については年度により変更される可能性があります。

7. 博士課程前期課程入試における外国語外部検定(TOEIC)導入

システム情報学研究科博士課程前期課程入学試験では，外国語（英語）の試験に外部検定（TOEIC）を導入しています。2022 年度入試（2021 年度に実施）における対象（※）は，推薦入試，一般選抜試験，外国人留学生特別入試を受験する者です。出願時に，入学試験を受ける 3 年前の 4 月 1 日以降に受験した TOEIC 公開テストの公式認定証(Official Score Certificate) 原本の提出が必要です。なお，TOEIC 公開テストのみ有効で，TOEIC 団体特別受験制度（IP: Institutional Program）やカレッジ TOEIC などの成績は認められませんので注意してください。

※入試については年度により変更の可能性がありま。

8. チュータ教員制度

- ・ 毎年，最低 2 回チュータ教員からの呼び出しがありますので，必ず出席すること。また，やむなく欠席する場合は，その旨，チュータ教員に事前に連絡すること。新型コロナウイルス感染再拡大の影響で，2021 年度の第 1 回目チューティングの日時場所・形式が変更になる可能性があります。教学掲示板で最新情報を頻繁に確認するとともに，チュータ担当教員からのメール連絡にも注意を払うこと。

9. その他

健康診断

- ・ 今年度も，在學生は Web 問診票による健康状態のチェックとなる予定(実施時期は検討中)です。以下の Web ページなどで最新情報を確認ください。

<http://www.health.kobe-u.ac.jp/kenshin.html>

https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/sub_student/2021_04_01_02.html

授業料未納に伴う除籍

- ・学期末までに授業料が納付されない場合は除籍になります。

通学

- ・自動車による通学は身体障害などの特別の事情を有する場合以外は認められていません。
- ・本学の学生がバイク通学に起因する交通事故の加害者・被害者となった例がしばしば報告されています。やむなくバイク通学する場合は、構内では歩行者等に対する安全に十分に配慮し、指定駐輪場に駐輪すること。また、駐輪場へ向う通路での駐輪はかたく慎むこと。違反車にはキーロックをかけた上で厳重注意します。

キャンパス内禁煙

- ・2021年4月1日より、**神戸大学ではキャンパス内全面禁煙**となりました。なお未成年の喫煙は法律で禁止されているので、二十歳になるまでは喫煙しないこと。

休学・退学

- ・必要書類に記入の上、学科長、教学委員の印が必要です。特に退学にあたっては学生証を返却する必要がありますから、勝手に破棄したりしないように注意すること。

神戸グローバルチャレンジプログラムについて

- ・今年度の募集状況は以下のページで確認ください。
<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/kobe-gcp/>

4年生への進級要件及び卒業要件

	全学共通科目							専門科目				計
	基礎 教養	総合 教養	高度 教養	外国語 第1	外国語 第2	健康・スポーツ 科学基礎1,2	情報 基礎	◎1	◎2	◎3	○	
開講単位数								33.5	13.5	38	25	
4年生への 進級要件	6	6	2	4	4	1	1	33.5	≧39.5		≧7	≧104
卒業要件	6	6	4	4	4	1	1	33.5	≧11.5	≧26	≧13*	≧124

*：外国語科目と健康・スポーツ科学の選択科目については、それぞれ2単位と1単位を上限として算入することができる。

学生便覧 p.123, 124 の表を確認のこと

へ 情報知能工学科

授業科目の区分等		授業科目等	必要修得単位数		備 考
基礎教養科目		別表第1 イに掲げる授業科目	6		
総合教養科目		別表第1 イに掲げる授業科目	6		
外国語科目	外国語第I	Academic English Communication A1	0.5	4	※外国語第I Academic English Communication B1, B2, Academic English Literacy B1, B2については必修であるが, Academic English Communication B1(選抜上級クラス), B2(選抜上級クラス), Academic English Literacy B1(選抜上級クラス), B2(選抜上級クラス)で代替することを認める。
		Academic English Communication A2	0.5		
		Academic English Communication B1	0.5		
		Academic English Communication B2	0.5		
		Academic English Literacy A1	0.5		
		Academic English Literacy A2	0.5		
		Academic English Literacy B1	0.5		
		Academic English Literacy B2	0.5		
	外国語第II	ドイツ語初級A1, フランス語初級A1, 中国語初級A1, ロシア語初級A1	0.5	4	ドイツ語, フランス語, 中国語及びロシア語のうちから1つを選択すること。 ※ドイツ語, フランス語及び中国語のA3, A4, B3, B4については必修であるが, 選択した語学のSA3, SA4, SB3, SB4で代替することを認める。
		ドイツ語初級A2, フランス語初級A2, 中国語初級A2, ロシア語初級A2	0.5		
		ドイツ語初級B1, フランス語初級B1, 中国語初級B1, ロシア語初級B1	0.5		
		ドイツ語初級B2, フランス語初級B2, 中国語初級B2, ロシア語初級B2	0.5		
		ドイツ語初級A3, フランス語初級A3, 中国語初級A3, ロシア語初級A3	0.5		
		ドイツ語初級A4, フランス語初級A4, 中国語初級A4, ロシア語初級A4	0.5		
ドイツ語初級B3, フランス語初級B3, 中国語初級B3, ロシア語初級B3	0.5				
ドイツ語初級B4, フランス語初級B4, 中国語初級B4, ロシア語初級B4	0.5				
情報科目	情報基礎	1	1		
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習基礎	1	1		

高度教養科目	工学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち情報知能工学科開講科目	0~2	4	
	工学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち建築学科，市民工学科，電気電子工学科，機械工学科，応用化学科開講の高度教養科目及び他学部，国際教養教育院開講の高度教養科目	2~4		
選択科目 (全学共通授業科目)	Advanced English Online 1 Advanced English Online 2 Advanced English (海外研修) ドイツ語中級C1，フランス語中級C1， 中国語中級C1，ロシア語中級C1 ドイツ語中級C2，フランス語中級C2， 中国語中級C2，ロシア語中級C2 健康・スポーツ科学講義A 健康・スポーツ科学講義B 健康・スポーツ科学講義C 健康・スポーツ科学実習1 健康・スポーツ科学実習2	98		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語(2単位まで)，健康・スポーツ科学(1単位まで)を修得した場合は，必要修得単位数に算入する。 ・ドイツ語，フランス語，中国語及びロシア語のC1及びC2については，外国語第Ⅱの必修で選択した語学のみ履修を認める。
専門科目	別表第1トに掲げる授業科目のうちから別に定める授業科目			
合 計			124	